

射水市総合計画審議会 第3回安全安心部会 会議録(要旨)

日時 令和4年5月17日(火) 午後7時～8時30分

場所 射水市役所本庁舎2階201、202会議室

出席者

(委員)

大坪清治、加治幸大、門田晋、鈴木真由美、高市洋介(リモート参加)、辻ゆかり、釣谷隆行

オブザーバー：大西宏治

欠席委員：上田秀永、川原辰弥、木田和典

(当局)

現地参加

長谷川市民生活部長、北財務管理部長、小見福祉保健部長、小川財務管理部次長、松下市民生活部次長、轟福祉保健部次長、京角市民生活部副参事、明野生活安全課長、山口地域福祉課長、竹内社会福祉課長、菓子介護保険課長、明保険年金課長、高岡保健センター所長、網防災危機管理班長、菅原政策推進課長

リモート参加

島多市民病院長、中野市民病院事務局長、糸岡市民病院事務局長、下村市民病院医事課長、竹内消防長、土居消防本部次長、大隅消防本部総務課長、小路消防本部防災課長

1 開会

2 部会長あいさつ

3 議事

(1) 基本構想素案について

(2) 基本計画骨子案について

政策推進課長	資料1-1～2に基づき説明
部会長	資料1-1基本構想(素案)について意見をいただきたい。
委員A	射水市に住みたいと思ってもらうには、裏付けとして危機管理とセキュリティが必要だ。主要課題の課題3に情報モラル・セキュリティ対応とあるが、情報だけではなく、すべての面でのセキュリティ対応が必要だと思う。また、課題7に危機管理の視点が入っていないので、「危機管理対応力を高める」などの文言を追加してほしい。
財務管理部長	国土強靱化計画を策定しており、その中に危機管理が入っている。そうしたことも踏まえ、総合計画の中でどのように表現するか検討したい。
部会長	15ページの「共通の視点」は、全体を通じたこととしてこの内容でよいと思うが、この観点が各基本目標や施策のどの部分に入っているのかははっきりしない。すべてに入れる必要はないが大事なところには何かしらの形で入れた方がよいと思う。 前回、他部会で基本方針の「稼げる産業」という表現が直接的すぎるのでは、という意見があったかと思うが。

事務局	「稼ぐ」ということが産業の持続可能性につながると考え、あえて「稼げる産業」という表現にしている。違和感があるということであれば、改めて意見をいただいた上で検討したい。
部会長	資料2 前期基本計画（骨子案）について意見をいただきたい。
委員 A	経済の起爆剤として、ゆるキャラの経済効果が大きいという記事を読んだ。射水市には「ムズムズくん」があるが、ゆるキャラの活用などについて骨子案のどこかに記載されているか。
事務局	直接的にゆるキャラという表現はしていないが、28 ページに「シティプロモーションの推進」に関する記載があり、この中での取組になる。「多様なメディアを活用した情報発信」の多様なメディアの一種が、ゆるキャラや「いみず雫（Vチューバー）」に当たる。具体的なゆるキャラの活用などは個別計画などで示すことになる。
副部会長	基本構想の構成について、やはり「稼げる産業」は表現がきついと思う。例えば「活力ある産業」など変更してはどうか。 また、骨子案の基本方針5にある「5-1 住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整える」の主要施策の「3 生きがい・居場所づくり、活躍の場の創出」だけ枝葉の項目がないことが気になる。ここは障がいのある人や引きこもりの方たちなどの一番大きな課題だと思う。
福祉保健部長	「3 生きがい・居場所づくり、活躍の場の創出」については、引きこもりの方や生活困窮者だけではなく、誰しにも「サードプレイス」が必要という考え方である。地域の中で共生していけるよう、子どもや障がいのある人、高齢者など、様々な年代を対象にした場所をどうつくるかということになる。
副部会長	そうすると、福祉に関することがすべて共通項になってしまうと思う。もう少し特化してもよいのかなと思った。特に対象となる人たちを絞って記載してもよいと思うのだが、逆にここには馴染まないということであれば仕方ないかなと思う。引きこもりの方や障がいのある人など色々な人たちが安心して生活できる、社会に出ていく空間づくりとして居場所づくりが出てきたと思っているので、そのあたり工夫あってもよいと思う。
委員 B	共通の視点の中にインクルージョンの推進がある。これをどのように企業に落とし込むかが大事だと思う。高齢者や障がいのある人など色々な人を企業がどう活かしていくか考える上で、行政から指針のようなものを示してほしい。 ニューノーマルの適応について、特に観光産業はアフターコロナではなくウィズコロナでやっていくしかないと思っている。その中で従業員の個性をどう活かすかが大切だと思うので、射水市がインクルージョンの推進を具体的にどのように考えているのかお聞きしたい。
事務局	総合計画であるため、「3 生きがい・居場所づくり、活躍の場の創出」については、細かい個別事業の内容の記載は避けて、方向性を示すような表現にしている。表現、見せ方について検討しながら進めていきたい。 インクルージョンやニューノーマルは、現在は「共通の視点」において箇条書きにしているが、内容の説明や共通の視点につながる取組について、今後追記していきたいと考えている。働き方については、骨子案の「2-3 働く選択肢を増やし、働きがいのある環境を整える」などに散りばめられている。
委員 C	骨子案の「1-2 新しい命の誕生を応援する」について、生む女性側への支援が主になっているが、男性の育休など、パートナーと一緒に育てることがイメージできる支援があるとよいと思う。そうなれば高校生への指導・教材などにも活用できると思う。
部会長	今の内容は「2-3 働く選択肢を増やし、働きがいのある環境を整える」の共働き

	世帯への対応などとも関連すると思う。
事務局	「2-3 働く選択肢を増やし、働きがいのある環境を整える」にワークライフバランスの実現に向けた職場環境の整備推進」と記載しており、このあたりが男性の育休取得などに関係する施策になる。それぞれの施策がそれぞれに関連しているため、事業の関連性が分かるような表現の仕方を検討したい。
委員 D	「7-3 恵まれた自然環境の保全と、地域の伝統文化の継承を支援する」にあるカーボンニュートラルについて、各省庁で具体的な目標・方向性を示しており、射水市は今年度ビジョンを策定すると聞いているので、この総合計画の始期までにビジョンが策定されるのであれば、総合計画に記載してはどうか。 目標人口 86,000 人の根拠はあるか。
事務局	射水市人口ビジョンに基づいて設定している。
委員 D	現在の人口は何人になるか。
市民生活部長	4 月時点で住民票がある方は、91,500 人弱となっている。
委員 D	市民目線だと人口が増えていると感じる。すでに人口ビジョンの数字とズレがある。なぜ人口が増えているのかなどを分析して施策に役立てることが目標を上回ることにつながると思う。今後 10 年を見据えた計画が策定時点でズレがあることに違和感がある。
事務局	人口には住民基本台帳による数字と国勢調査による数字があり、人口ビジョンは国勢調査に基づいている。その分ズレはある。
委員 A	骨子案の「3-2 住みやすく潤いのある生活環境を整える」に空き家対策の推進とあるが、「空き地」に関する記載がないことが気になった。空き地も含まれているのか。含まれていないのであれば、空き地や所有者不明土地の有効活用についても記載されるとよいと思う。
事務局	担当部局に確認する。
委員 B	妊娠している方から、産気づいた時にタクシーを利用できるかという問い合わせがある。救急車の利用に抵抗があるからだと思う。妊娠した方の不安を取り除く取組があるとよいと思う。
福祉保健部長	骨子案の「1-2 新しい命の誕生を応援する」の「2 妊娠・出産にかかる経済的支援の充実」あたりに関わってくることになると思う。産気づいた時の不安が強い方がいることが分かったので、どう支援していくか検討したい。
副部長	資料 1-1 の「2 共通の視点」のまとめ方のイメージをお聞きしたい。
事務局	各項目に、それにつながる主要施策を掲載するイメージである。
副部長	共通の視点の 4 つの項目に射水市らしさは出てくるのか。
事務局	これが射水市らしさだということを計画内で強調するイメージは持っていないが、射水市が重要だと思っている項目が「共通の視点」に現れている。表現の中からにじみ出てくるものだと思っている。
委員 C	完成したものを高校生など子どもが見た時に、インクルージョンなど子どもが知らない表現があると思う。そういった文言の説明はどこかに記載されるのか。
事務局	なるべく伝わりにくい文言は使わないよう心掛けているが、使用する場合は欄外に注釈を設けるなど分かりやすくしていきたい。
委員 E	資料 1-1 の「4 まちづくりの主要課題」にあるカーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進について、この前提になっている地球温暖化などの気候変動に対応

したまちづくりを進めていく必要があると思う。

また、人口についても同様で、人口減少に対応した相応のコンパクトなまちづくりを目指していかないといけないと思う。そういったことを基本構想に方向性として挙げないといけないと思う。

市民生活部長

カーボンニュートラル等については、射水市としても重要だと考えており、再生可能エネルギーや地球温暖化など方向性を明確にしながら、実施計画とすり合わせて進めていきたいと考えている。

委員 F

骨子案の「基本方針 1 新しい家族と命育む未来」をみると、子どもを「育てる」ことが中心になっていて、「育つ」や「育ち」のサポートについてほとんど記載されていないと感じる。射水市は子ども条例もあるため、そういった子どもの育ちについて入ってくるとよいと思う。父親の子育て参画について記載がないことも同様で、視点の幅広さがないので、少しでも記載されているとよいと思う。

部会長

単身で暮らしている若者を、射水市としてどのように盛り上げていくか。そういった方々が活躍する場の視点がどこかにあるとよいと思う。色々なスタイルの方が過ごしていけるという視点があるとよいと思う。

部会長

本日いただいた意見は、全体会での協議資料に反映する。資料への反映については事務局と部会長、副部会長に一任してほしい。

(異議なし)

部会長

本日発言できなかったことや後日気付いたことなど意見がある場合は、机上の様式等を利用して事務局に提出していただきたい。

4 その他  
事務局

次回全体会を5月31日(火)午後7時から、本庁舎3階で開催を予定している。意見提出は今週中にいただきたい。次回専門部会は7月下旬を考えている。

5 閉会

以上